

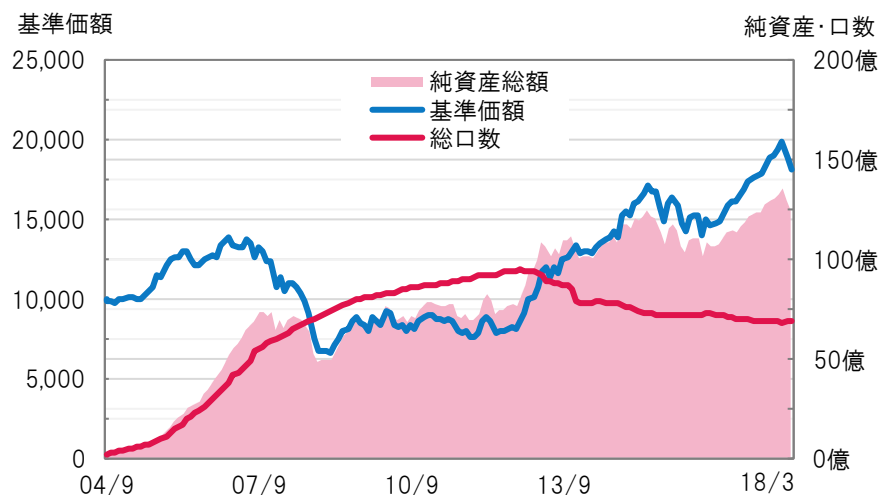
2018
4月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第164号②【基準日 2018年3月30日】

39
Arigate Asset
Management Inc.

◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	18,187円
純資産総額	124億70百万円
口座数	4,759
積立割合	54.4%

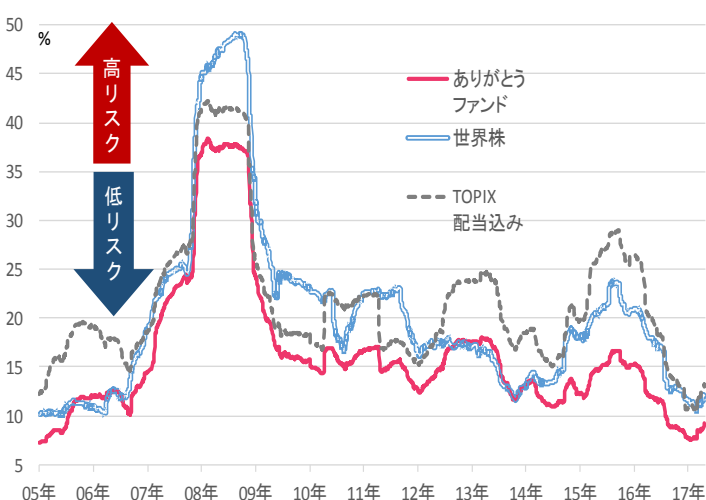


◆ファンドの騰落率

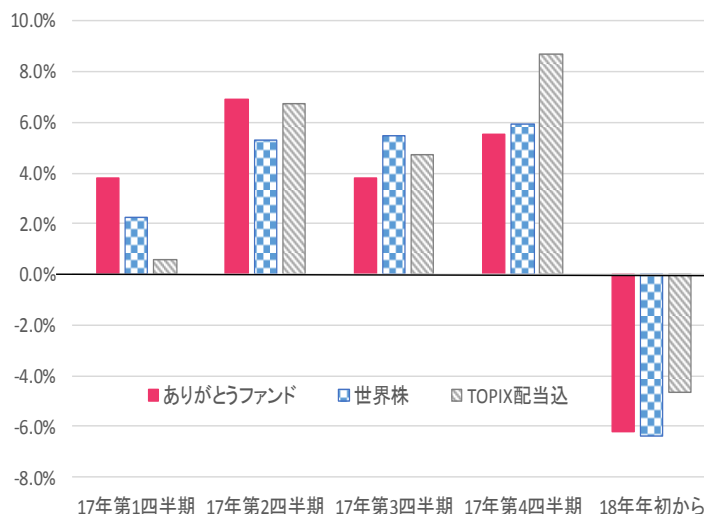
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利
ありがとうファンド	▲3.7%	▲6.2%	▲1.0%	+9.8%	+12.7%	+68.9%	+81.9%	4.50%
世界株 (MSCI ACWI, 円)	▲2.4%	▲6.4%	▲0.8%	+10.2%	+13.9%	+80.4%	+177.6%	7.81%
TOPIX配当込み	▲2.0%	▲4.7%	+3.6%	+15.9%	+18.5%	+83.6%	+95.2%	5.05%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



◆騰落率比較(2017年年初～)

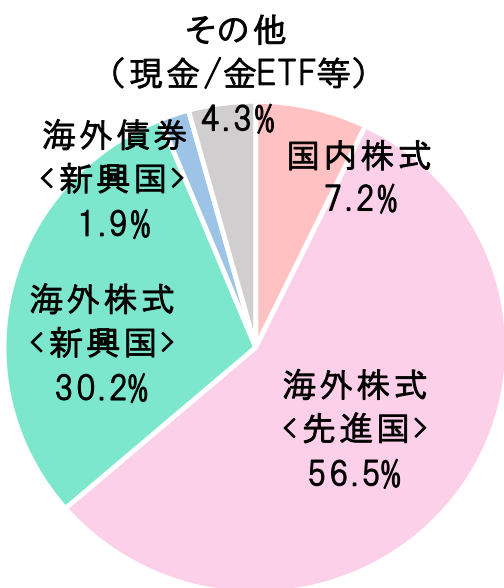


※**値動きの大きさの推移について**: 設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

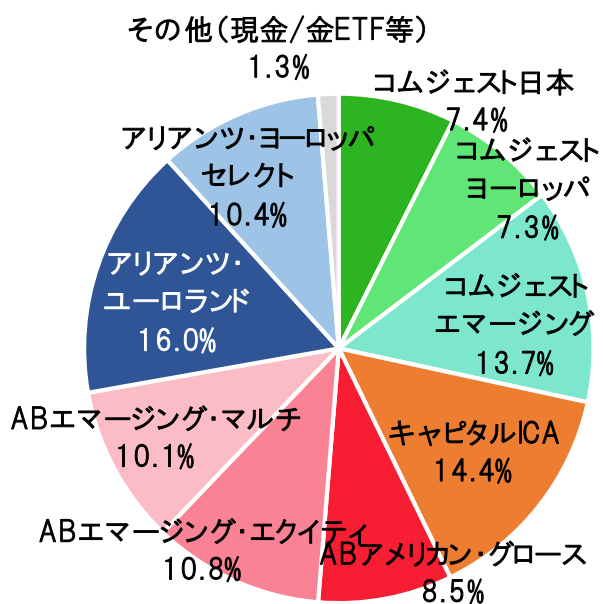
◆資産配分(2月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	7.2%	6%	+1.2%
海外株式<先進国>	56.5%	55%	+1.5%
海外株式等<新興国>	32.1%	33%	-0.9%
その他(現金/金ETF等)	4.3%	6%	-1.7%



◆ポートフォリオ(3月末時点)



◆アクティブシェア(2月末時点)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	93%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	92%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマージングキャピタルICA	開示なし	開示なし
ABアメリカン・グロース	67%	ラッセル1000グロース
ABエマージング・エクイティ	70%	MSCIエマージングマーケット
ABエマージング・マルチ	株式80% 債券18%(注1)	なし
アリアンツ・ユーロランド	70%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注1：ABエマージング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆直近のマーケット動向について

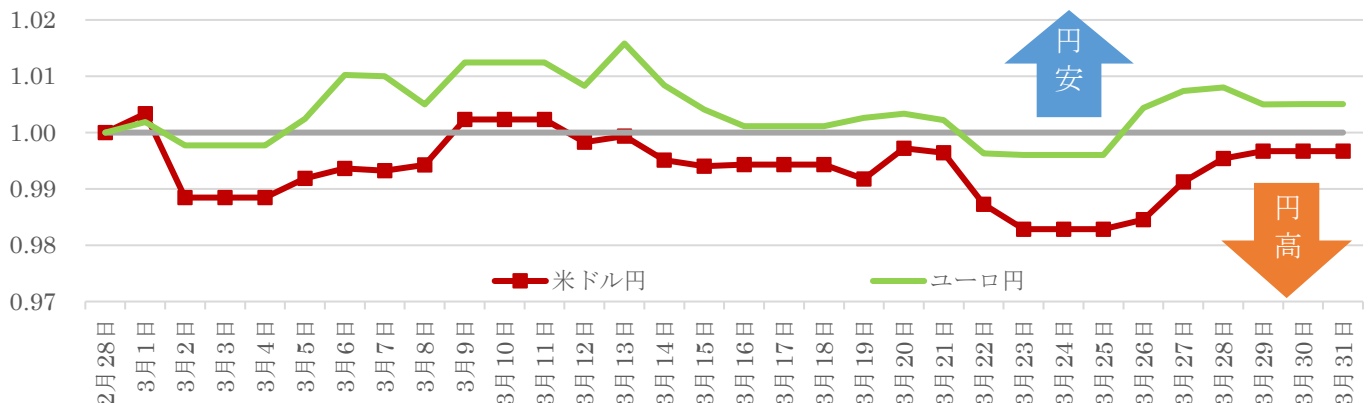


3月のマーケットはどうだったの？森友学園問題について連日ニュースで報道されていたみたいだけど・・・株価にも影響あるのよね？

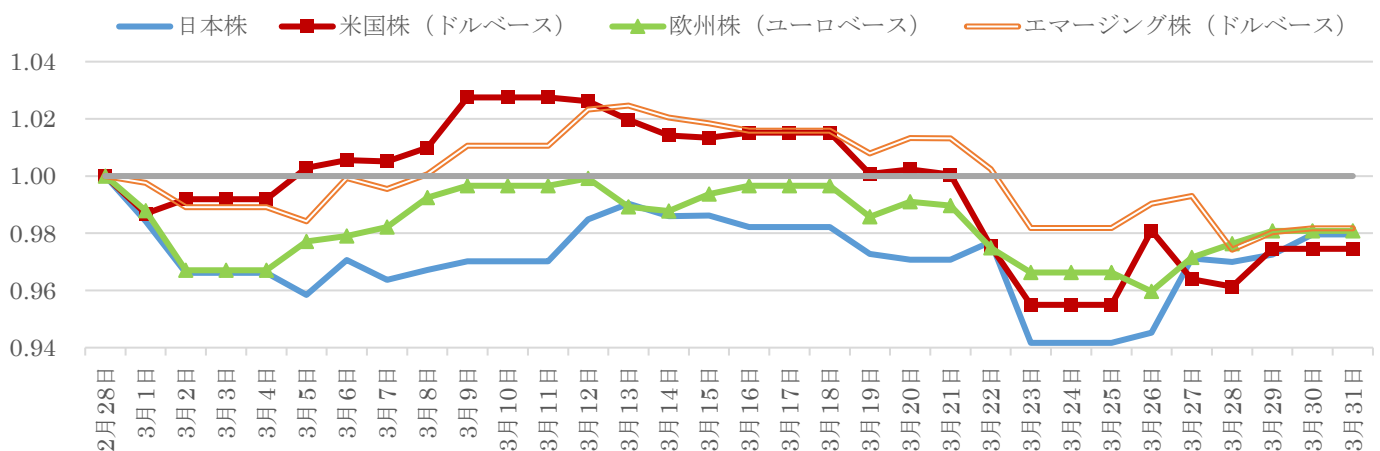


3月のマーケットの動きですが、昨年一本調子で上昇してきたところからの調整が続く、低調なパフォーマンスの1ヶ月になりました。序盤では、トランプ大統領が鉄鋼とアルミニウムの輸入制限を発動する方針を表明したこと、国際協調派のシンボリック的存在であったトランプ政権の経済顧問コーンNEC委員長が辞任を表明したことなどから、世界的な貿易摩擦が懸念されて値を下げる展開になりました。中盤やや持ち直すも、後半にかけて米国が中国に対して知的財産権を侵害しているとして関税を課す大統領令に署名したこと、逆に中国からの報復の準備があるなど発表されたことから、両国間の貿易摩擦激化が懸念され、また値を下げる展開になりました。日本株式市場は、国会で森友学園問題の追及が続く安倍内閣の支持率が急落し、アベノミクスの継続性への疑問が呈されたことにより、一ヶ月を通してやや値の重い展開になりました。

【米ドル円、ユーロ円推移】2018年2月28日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2018年2月28日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、世界同時株安の中、日本株が相対的に下振れているように見受けられます。森友学園問題の影響が大きかったと考えます。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？



ありがとうファンドの3月月間騰落率は3.7%の下落となりました。世界株式市場の市場平均より下げる低調な結果になりました。米国株式を主な投資対象としているキャピタルICAとエマージング株式市場を主な投資対象としているコムジェスト・エマージングファンドがやや低調だったことなどがマイナスに寄与しました。

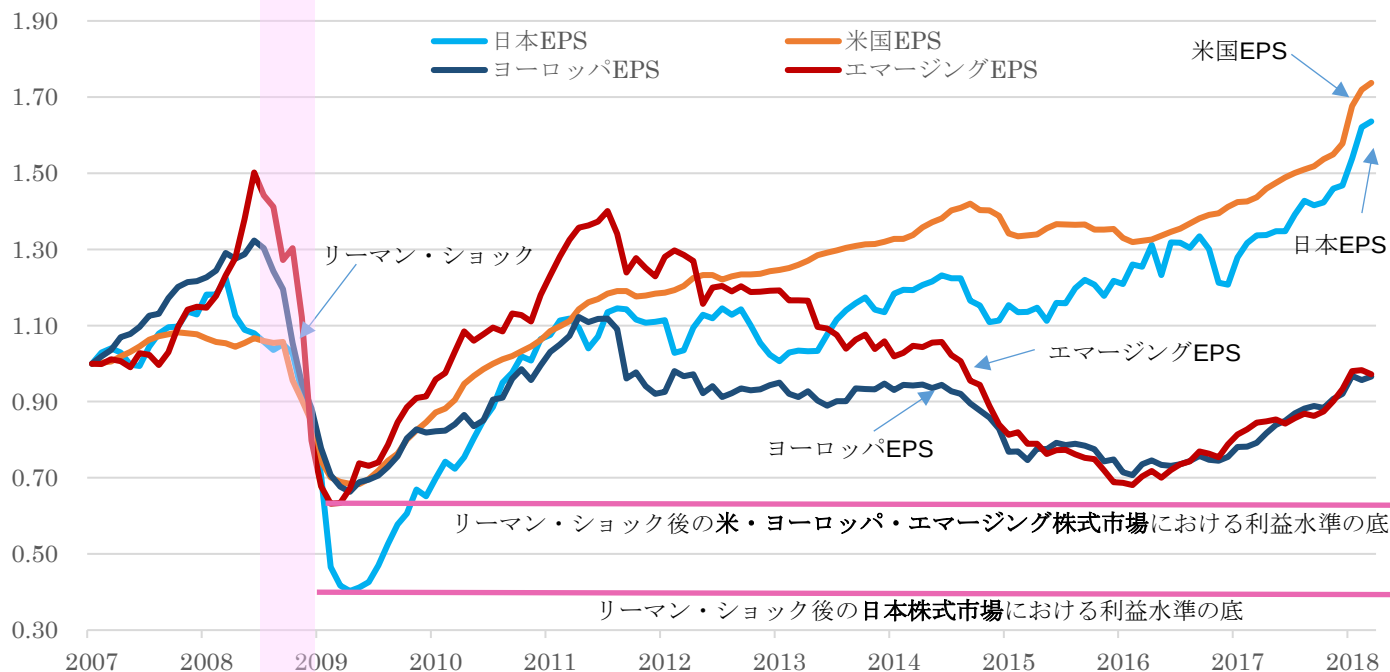
3月中の売買状況については、売買を見送りました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。



今後の見通しについては、北朝鮮問題など一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻しはじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2018年月3月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

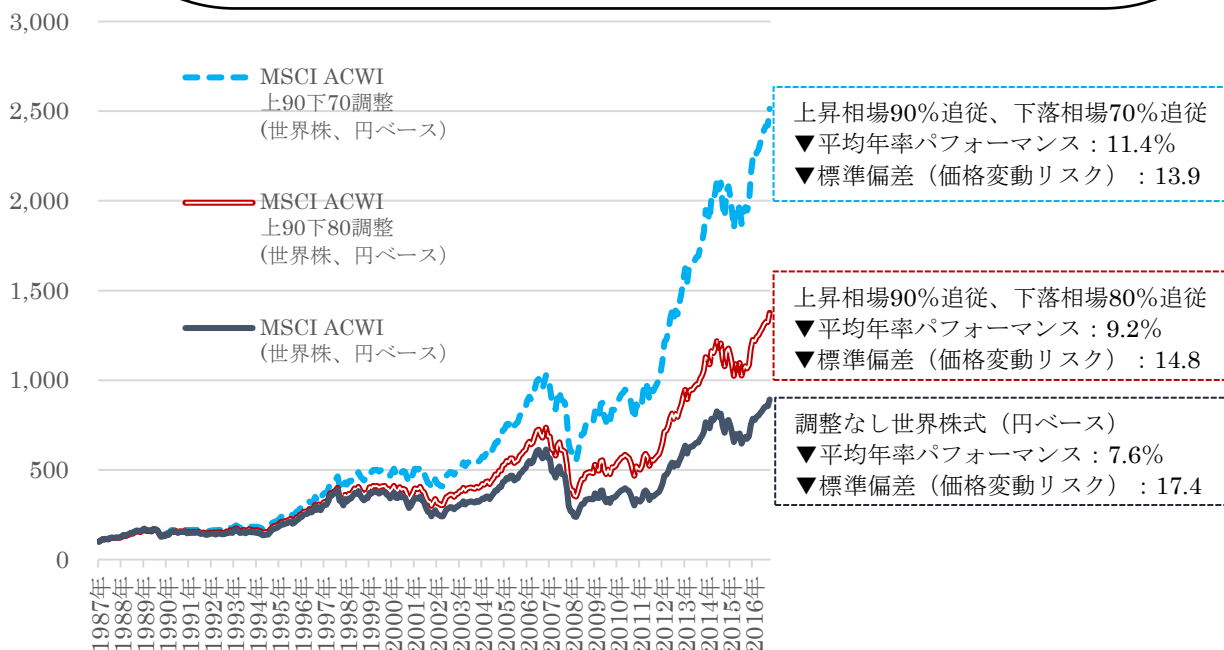
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金 ETF など株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では 90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス

価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

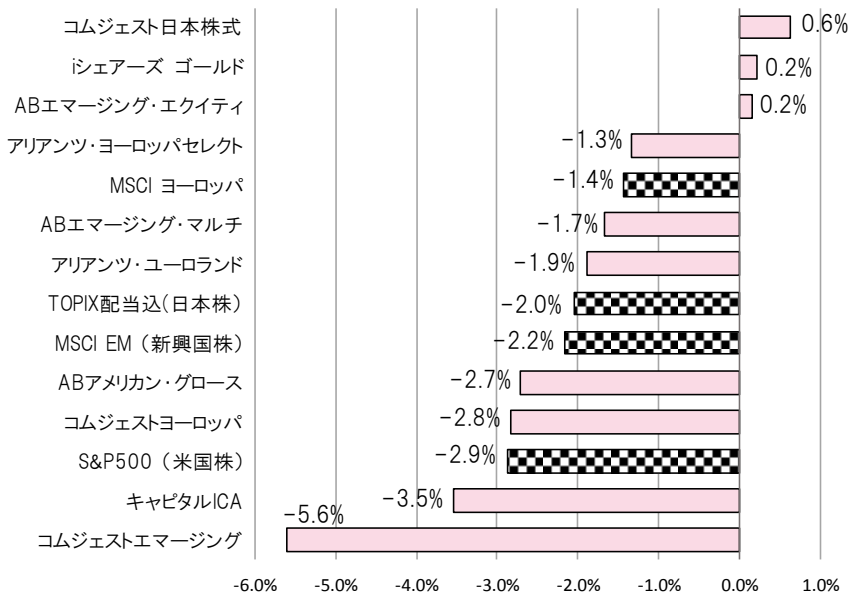


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

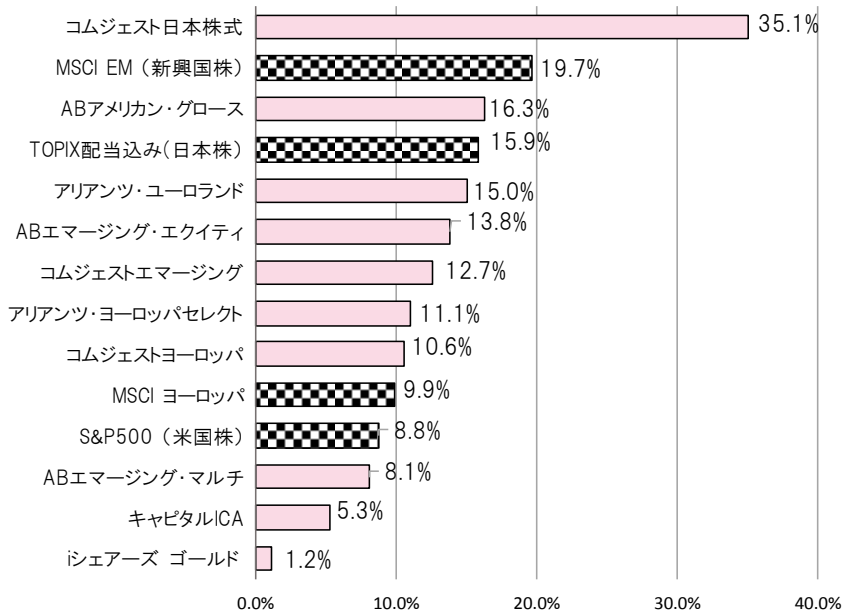


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2018年3月30日時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



月間騰落率についてはコムジェスト・エマージング、キャピタルICA、コムジェスト・ユーロッパ、アリアンツ・ユーロランドファンドが参考指数(円ベース)に対しアンダーパフォームし、ありがとうファンドの基準価額下落の主な要因となりました。一方、アリアンツ・ユーロランド、コムジェスト・ユーロッパファンドについては、年間騰落率では市場平均に対しアウトパフォームしており、今まで上昇を牽引していた成長銘柄がこの度の世界同時株安相場で相対的に大きく調整したように見受けられます。ありがとうファンドでは企業利益を持続的に成長できる質の高いビジネスモデルを持つ企業に投資するファンドを厳選しています。株式市場は過熱気味だったため調整相場に転じましたが、世界経済の回復・改善が続く中、しっかりした成長ストーリーのある企業の株価は過熱していた株価の調整を乗り越えると考えております。ありがとうファンドでは外国株の保有比率が高くなっており、皆様のあまり親しみのない企業が多くあると思います。そういった外国企業の今後の成長ストーリーなどをセミナーでわかりやすく紹介していますので、是非セミナーに参加検討いただくと幸いです。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジェスト日本株式	日本	7.4%	+0.6%	+3.5%	+16.2%	+35.1%			
	TOPIX 配当込み			▲2.0%	▲4.7%	+3.6%	+15.9%	+18.5%	+83.6%	+12.7%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.5%	▲2.7%	▲5.7%	+2.9%	+16.3%	+26.5%	+143.6%	+19.1%
3	キャピタルICA	米国	14.4%	▲3.5%	▲8.2%	▲1.3%	+5.3%			
	S&P500 (米国、円)			▲2.9%	▲6.3%	▲0.0%	+8.8%	+20.6%	+111.2%	+15.8%
4	コムジェスト ヨーロッパ	欧州	7.3%	▲2.8%	▲6.4%	▲3.8%	+10.6%	+10.7%	+60.6%	+9.8%
5	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	16.0%	▲1.9%	▲6.9%	▲4.2%	+15.0%	+15.3%	+74.1%	+11.5%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	10.4%	▲1.3%	▲7.8%	▲4.5%	+11.1%	+7.5%		
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			▲1.4%	▲7.3%	▲5.2%	+9.9%	+3.8%	+58.5%	+9.5%
7	コムジェスト エマージング	エマージング	13.7%	▲5.6%	▲8.2%	+0.0%	+12.7%	+11.2%	+63.7%	+10.2%
8	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.8%	+0.2%	▲6.0%	+0.1%	+13.8%	+15.5%		
9	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.1%	▲1.7%	▲7.2%	▲0.4%	+8.1%	+14.3%	+40.8%	+7.0%
	MSCI EM (新興国株、円)			▲2.2%	▲4.2%	+3.1%	+19.7%	+15.5%	+46.9%	+7.9%
10	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	0.8%	+0.2%	▲3.9%	▲2.3%	+1.2%	▲1.4%	▲7.2%	▲1.5%

注：参考指数（円ベース）の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。（レポート最終ページに注記があります。）

積立投資のメリット



◆取得単価を平準化

◆時間分散でリスクを低減

◆長期で投資を継続しやすい

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

					3月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	4.2%	
2 日本M&Aセンター	日本	資本財・サービス	国内の中堅・中小企業のM&A(合併・買収)というニッチ(すき間)マーケットに特化し、M&A仲介や企業再編支援などを手掛ける。主力業務のM&A仲介では、地域の主要会計事務所を地域M&Aセンターとしてネットワーク化している。	4.2%	
3 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	4.1%	
4 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要となる機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス & サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	4.1%	
5 日本電産	日本	資本財・サービス	精密小型から超大型までの幅広いラインナップを誇るモータ事業を中心に、モータの応用製品・ソリューションも手がける。既存事業による成長と積極的なM&A戦略が基本。	3.8%	

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄

					3月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリ・ディングカンパニーの一つ	6.4%	
2 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.4%	
3 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.2%	
4 ザルトリウス・ステディム・バイオテック	フランス	ヘルスケア	ナイロン袋製造会社。病院や研究所で使用する滅菌溶液、および処方薬の袋などの製造に強み	4.7%	
5 コロブラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スキンケア製品に強み	4.5%	

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄

					3月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	5.8%	
2 コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	4.5%	
3 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	4.3%	
4 チャイナ・ライブ(中国人寿保険)	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.3%	
5 MTNグループ	南アフリカ	電気通信サービス	通信サービス会社。地域、国内および国際通信サービスのほか、ブロードバンドやインターネットサービス、固定通信と移動通信の融合製品やサービスを提供する。	3.8%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

株式組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	7.1%
2	MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	2.9%
3	AMAZON	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.7%
4	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	2.5%
5	AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ

組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.9%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.6%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.4%
4	UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.7%
5	BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.5%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	7.0%
2	ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.8%
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	3.7%
4	TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.3%
5	PTT GLOBAL CHEMICAL PCL	タイ	素材	総合石油化学会社。主な製品は、オレフィン製品(エチレン、ポリプロピレン)など。	3.2%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.6%
2	ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.0%
3	TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	2.3%
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.3%
5	INDUSTRIAL BANK OF KOREA	大韓民国	金融	政策銀行。国内中小企業向け開発融資・関連銀行業務に従事する。主な業務は、融資、割引手形、貿易融資、預金、為替、支払保証など。クレジットカード、保険、スマートフォンバンキングなどの業務も手掛ける。	2.3%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.7%
2	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	5.7%
3	AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	5.0%
4	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.6%
5	KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	3.7%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

組入上位5銘柄				2月28日時点	
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.2%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.4%
3	PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	5.2%
4	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	5.0%
5	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米、中南米、北アジア、東南アジア・オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・CIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	3.8%

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→TOPIX配当込み

【世界株】→MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックストータルリターン

【米国株】→S&P500 トータルリターン

【欧州株】→MSCI ヨーロッパ トータルリターン

【エマージング株】→MSCI エマージング トータルリターン

